

演題：「11 日前からの寝付き悪さ・倦怠感を主訴に来院した一例」

名瀬徳洲会病院 初期研修医
湘南藤沢徳洲会病院二年次 兼田 稜

抄録；

夜間当直中に 11 日前からの寝付きの悪さ・倦怠感を主訴に ADL full の 67 歳男性が来院した。既往は 2 型糖尿病のみで HbA1c 6%前後で推移し経過良好であった。

問診すると現在も自動車の塗装業で働く男性が、倦怠感のみではなく 10m ほどの坂道を登るだけで息切れが出現しており、また起坐呼吸による中途覚醒が判明、心不全の診断になった。

採血で Hb6.5g/dL, Ca6.1mg/dl, BUN80.4mg/dL, Crea8.90mg/dL と末期腎不全見つかかった。

過去カルテを遡ると 5 年前に他症状で受診した時 Cre1.66mg/dL、3 年前に人間ドッグで尿蛋白 4+となって糖尿病腎症進行していたのに介入されておらず、合併症評価が不適切であった。

また入院後ブラッドアクセスカテーテル挿入後に発熱やカテーテルの閉塞認めためカテーテル関連合併症について考察した。